

# 「作業面、環境面ともに最高！」 大型車の理想的なサービス空間を実現。

東京都及び埼玉県に販売・サービスの拠点を展開する東京日野自動車(株)では、このたびサービス工場として16番目にあたる「松伏整備工場」をオープンしました。トラックユーザーに確実、スピーディなサービスを提供する最新設備と、働く人に明るく快適な作業環境を実現した新時代の大型車サービス工場です。



松伏部整備部長  
高崎 勇氏



松伏は埼玉県の東部にあたり、千葉、茨城にも至近の立地。



左から一般整備2、予備ストール1、車検整備2ストールと検査ライン、洗車場。

## オールバンザイで快適整備空間を実現

「設備はもちろん、スペース、明るさなど環境面は最高ですね」と新工場の快適性を強調されるのは同社、松伏部整備の高崎部長。このたび完成した「松伏整備工場」は広い作業スペースの全面にわたって柱のない空間の広さと、自然光を取り入れる樹脂製のトップライトの採用により、明るく快適な作業環境を実現しています。

サービスストールは合計5ストール。そのうち車検整備ストール2レーン、予備ストール1レーンに合計3基のツインエースを配備、また一般整備2レーンにはフロアリフトを導入するなど、省力化、効率面でも最高の設備となっています。そのほか検査ライン、洗車場が各1ストール、それぞれ最新の検査機器および自動下部洗浄機を導入しています。



全自動ヘッドライトテスター、ほか最新のテスター機器を導入した検査ライン。



洗車場には自動下部洗浄機を設備。

## 細部まで作業性、環境整備を追求

新整備工場が建設されたのは、従来より新車整備、架装、特装工場のある松伏センターの敷地の一角です。同拠点では3年前より新車営業部門がスタートし、アフターサービスのニーズの拡大に伴い新たなサービス体制の拡充が課題とされていたためです。また新工場とあわせて従来の新車整備工場を2tから小型車までの整備向けに改装し、小型・中型車から大型車まで一貫したトータルサービス体制を実現しています。

先にあげたように、同工場では設計段階から環境面に配慮し、ツインエースの前方にあたるストール奥側のスペースも広くとり、また排水のグレーチングも工場の四辺のみとするなど、細部に至るまで環境面、作業面を追求したデザインとなっています。

ツインエースと周辺機器により、迅速確実なサービスを提供。



一般整備に作業性抜群のフロアリフトを2レーンに導入。

ツインエースは微妙な位置合わせもリモコンで楽々。



床面をフラットとしたことにより、作業性とともにも清掃も容易になっている。明るく快適、柱もないので広々とした作業環境を実現。



環境対応工場として廃油廃液の回収も徹底。



ホイールドーリーは移動式としスペース効率に配慮。



「使い勝手、環境面もバツグン」と好評のエレメントクリーナー。

## 整備費用削減につながる 予防整備をアピール

大型車整備においてもかつてのようなスプリング折損やミッショントラブルなどは減少し、乗用車と同様にトラブルの多くはコンピュータなどの電装関係に移行しつつあります。特に大型車にあっては、万一の故障は大幅なコストアップにつながるほか、トラックユーザーと荷主との信頼関係にも影響するだけに、定期点検、予防整備による故障の防止が最大のテーマとなります。松伏整備工場の完成により、最新の設備機器を駆使し、確かな整備を迅速に提供することにより、「万一の故障を未然に防ぐことにより、トータルでコストダウンにつながる予防整備を積極的に顧客にアピールしていきたい」(高崎部長)とのことです。

